



副町長 定刻になりましたので、ただいまからまちづくり地域集会を開催します。本会を進行させていただきます副町長の橋田です。本会は午後8時終了を予定しておりますので、ご協力をお願いします。

はじめに、町長よりご挨拶をお願いします。

町長 町長の三辻です。皆様には日頃から町行政に何かとご理解、ご協力をいただきまして、この場を借りて厚くお礼申し上げます。

本年度は、町の長期計画である「第6次大島町基本構想・後期基本計画」の策定の年となります。

この計画を簡単に説明します。町の政策は、地域の公共的な課題を解決する手段であり、この手段を集約したものが基本構想であり、基本構想実現に向けての実施計画が基本計画となります。要は、町の行財政運営の指針となる最上位に位置する計画です。

基本構想の計画期間は平成28年度から令和5年度までであり、前期基本計画は平成28年度から平成31年度まで、後期基本計画は令和2年度から5年度までとなります。

従来ですと町が原案を策定し、この原案をもとに住民説明会を開催し、皆様の意見等を聴いて調整のうえ最終原案とし、総合開発審議会にかけ了承を得たうえで、議会に提案・議決というパターンでしたが、過去、原案策定前の白紙の状態で住民の意見を聴いてほしいという声もありましたので、今回は、原案策定の前に皆様の意見等を聴いてみたく、説明会の開催となった次第であります。

このようなことから、皆様の忌憚のない意見等を頂戴したいと思いますのでよろしくお願ひいたします。

もう一つお願ひがあります。今後の行政活動を進めるに際しましては、住民皆様の声を聞くための、わかりやすく具体的な仕組みを作りたいと考えています。まずは、広報おおしま7月号にも掲載しましたが、広聴ハガキの設置、広く聴くハガキということですが、このハガキを町役場本庁・各出張所、火山博物館、御神火温泉に置いて、皆様の行政に対する意見、要望などの声を聞かせていただければと思います。

そして、今回の地域集会で、皆様の意見を聴きながら、住民皆様の声を聞く、わかりやすく具体的な仕組みを作りたいと考えていますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

また、例えば老人クラブや婦人会の集会などで、行政のことを聞きたいなどの要請があれば、積極的に行政出前講座的なことも行いたいと考えています。

以上、挨拶とさせていただきます。本日は限られた時間となりますが、積極的な意見等をよろしくお願ひいたします。

副町長           ここで出席者の紹介をいたします。

(教育長 谷口、総務課長 木中、政策推進課長 下村 自己紹介)

副町長           それでは、ご意見等ございます方は、挙手にてお願いいたします。

A 氏            今年はチャドクガ被害が酷かったが、町として椿についてどう思うか？

町長            町の木でもあり国際優秀椿園に認定されるなどして、来年には五島列島からもツアーが来るなど貢献していると思います。

A 氏            くるみや付近の都道とか特に酷かった。都や町の受託業者が薬剤散布しているが、効果がないのではと思う。椿トンネルでの薬剤散布を見ていたが、散布後にチャドクガが降りてきて生きている。それを自分がキンチョールで殺した。散布している薬剤は、葉をチャドクガが食べると死ぬので、即効性は無いとは聞いているが、散布した後降りてくるので、1軒に1本キンチョールを支給して駆除したら良いのではないか。チャドクガの被害調査はしているのか？

B 氏            チャドクガ散布の範囲については、産業課から観光・教育を含め来年度見直すと言っている。薬剤を見直してみても良いのでは？チャドクガが成虫のときに駆除できないのかな？吊るして集まる薬剤があるらしいので。

春（5月から6月頃）と秋（9月頃）の2回薬剤散布してほしい。

C 氏            泉津開拓は農振地域で泉津地区人口の4分の1が住んでいる。高齢化のため100人をきっていて、自主防災するにも限界集落となっているので、今後町として開拓をどうするのか？

町長            開拓だけの問題ではない。まずは産業振興を進め、働く場所をつくりたいと思い施行しているところです。

C 氏            農振なので、住みたくても住めない。個人では農地転用できないので、町としてできないか？戦後の政策で農業をやらせるために開拓された場所で、堆肥用のかや場にしている人がいるが、今まで専業農家はでていない。

教育長          遊休農地を活用しようというのはあるが、転用しようというのはないかな。

B 氏            開拓は広大な農地があるので、大規模な農地として使用してはどうか。火山灰使って、豆類とか、町や企業でやらないかな。

C 氏            町が買い上げて利用するということがあっても良い。

B 氏            町がキレイに整備して、区画して貸したら良いのではないか。

C 氏            農地としては使えない。風もあるし土も痩せている。

D 氏            宿泊できる場所がない。(泉津)

民宿の高齢化で世代交代できなかつた場合、宿泊できる場所がなくなると町はどうしますか？宿泊先が充実していればもっと人を呼べるのに。コガネムシやイチマルイチがもったいないなと思って。

- C氏 現在所有者が変わってイチマルイチはシェアハウスになっているみたい。
- D氏 高齢で自宅兼宿をやっている方が、体が切ないので辞めたいけど基本年金だけでは生活できないので、生活費を稼ぐために宿泊業をやらなくてはならない。自宅兼宿を他人に貸して町営住宅入居することはできますか？その後の生活費はどうすればいいですか？
- 副町長 家を持っていると住宅には入れないと思ったけど、後日確認します。
- A氏 復興計画とかあるが、災害で被害のあった場所（泉津）をどうするのか？鉄砲場は現在コーンが置かれたままになっているし、細かいところは他にもあるので、今は影響が無いようだが結構崩れているところもあるので、更に風水害等で掘られてしまったりすると、より被害が大きくなるのでどうするのか？
- 副町長 鉄砲場については町も把握しているが、細かいところは今後把握していつて、復興計画の中には入れないで予算もあることなので個別に危険度の高いところから順に対応したい。
- B氏 今回の集会の話への回答はどうするのか？泉津の掲示板に貼る？
- 副町長 今回は基本計画策定の基とするためのものなので、特にそういった回答はしません。
- D氏 子供の学力が心配。都内のテストを受けたりすると全然ダメ。塾があったら良いな。少しでも勉強する姿勢を身につけさせたい。しまなび塾とかやっているが元町なので、地域ごとで学べる場があれば良いな。退職された先生が町の補助を受けて何か行うとか。
- 教育長 確かに島の子の学力は低い。なりたいたいものになるために学力の低さで諦めるという状況をないようにしなくてはならない。色々やっているがすぐには良くならないが、意識をもって研修を行うなどの取り組みをしているところではあります。
- A氏 切り通しで迷子になっている観光客がいる。案内看板が無いので、切り通しは旧道にあるが新道を通ってくるので分からないみたいで、中には泉津林道に行ってしまう人もいます。切り通しの奥は私有地だと思うので、マムシも出るし、観光客があまり入らないようにしたほうが良いと思う。看板設置について色々な課題があるがクリアして対応してほしい。
- 副町長 他に特にないようですので、以上をもちまして、地域集会を終了いたします。どうもありがとうございました。

この会議録は、書記が調整したものである。